

むらかみの話題

このコーナーは、市内の協働の取り組みや話題・活動などを紹介します。

高坪山から荒川地区をPR

2月2日(日) あらかわ地区まちづくり協議会



高坪山周辺で登山道整備や野菜栽培などに取り組んでいる団体を対象に懇談会が開催され、互いの活動を紹介したり、現在抱えている課題などについて話し合いました。

この日参加した齋藤久佳さんは、「観光資源の少ない荒川地区の中で、高坪山は安定した集客が見込める貴重なエリア。さまざまな団体と連携し、特産品の販売などに取り組んでいきたい」と話していました。

真剣ながらも楽しんで

1月19日(日) 生涯学習推進センター



市長杯争奪第6回新春将棋大会が開催され、市内外から愛好家の皆さんが大勢参加しました。参加者は、真剣に駒をさしながらも時折、笑顔を見せるなどして、楽しんでいました。

優勝者は次のとおりです。
 Aクラス 梶井哲行氏 (新発田市)
 Bクラス 津島 忍氏 (岩船縦新町)
 Cクラス 遠山喜代一氏 (松原町三丁目)

おもてなしの心で迎えた冬の祭典

2月2日(日) ぶどうスキー場



ぶどうスキー場スノーフェスティバルが行われ、歌謡ショーや雪玉ストラックアウトなどで、賑わいました。

また、地元の葡萄集落の皆さんが、日ごろの感謝の気持ちをこめて、前日から仕込んだ豚汁450食を振るまい、訪れた人たちの体と心を暖めていました。

見事な出来栄えにプロもびっくり

2月6日(木) 荒川地区公民館



地元農産物の魅力を広く知ってもらおうと、村上市地産地消協議会が「パティスリーマルヤ」の遠山浩司さんを講師に招いてスイーツ講習会を開催。約30人の参加者が、地元の特産であるオータムポエムや越後姫を使ったシフォンケーキ作りに挑戦しました。

ある参加者は「手軽にこんなにおいしいケーキが作れるとは思わなかった。ぜひ、家でも作ってみたい」と話していました。

一年間の集大成を発表

1月29日(水) さんぼく南小学校



1・2年生は生活科3・6年生は総合的な学習の時間で学習したことをもとめ、全校児童および保護者の前で発表する発表会が行われました。児童たちは緊張しながらも大きな声ではっきりと発表しました。

3年生の板垣かのんさんは「みんなに山北のことを知ってもらえてよかったです。」と笑顔で話していました。

冬の朝日を楽しむ

2月8日(土) 高根地域



愛ランドあさひ主催の自然に親しみながら友だちや親子でふれあう自然体験ウィークエンドスクールが開催されました。地域内外から約60名が参加し、スノーシューや雪上バナナボートで、冬ならではの「雪遊び」を楽しんでいました。



2月9日(日) スポーツ振興推進懇談会
一流アスリートが語るこれまでの道のり

100以上のアジアン・日本記録保持者で、現役の競泳選手である河本耕平氏による講演会が大観荘せなみの湯で開催されました。河本氏は、「1秒でも早く泳ぎたい」との思いで続けてきた競技生活とその経験から得た「基本の積み重ね」と「目標を設定することの大切さ」を語り、参加者は熱心に耳を傾けていました。

集落内の親睦を深める地域の茶の間

2月14日(金) 小岩内集落



小岩内集落では、誰もが気軽に集い、交流する場として「地域の茶の間」を立ち上げました。1回目は、NPO法人希楽々から講師を招いて健康体操を行いました。運動不足になりがちな冬場に手軽に家でもできる体操を通して、参加者は親睦を深めていました。

笑顔あふれる雪まつり

2月8日(土) 神林農村環境改善センター



西神納地域まちづくり協議会主催による初の雪まつりが開催され、チーム対抗雪だるま(雪像)コンテストや宝探しなどで楽しみました。色付けされた雪だるまはどれも力作揃いで、審査員の皆さんは順位を付けるのにとっても苦労していました。



2月9日(日) 大毎・北中地域(スノーマンがやってきた会場)
大好きな地域で一生に残る思い出を

「夢21・さんぼく塾」主催の「スノーマンがやってきた!」では、宝探しやスノーモービルの乗車体験などが行われ、約300人の来場者で賑わいました。
今年の「スノーウエディン」の主役は、合併前から「週末百姓やってみ隊」に参加している胎内市の女性と関川村の男性。「皆さん、これからも山北に元気の種を蒔いて、育ててください」という、新婦のあいさつに会場から温かな拍手が送られました。